

編集

三好市役所総務部秘書人事課

〒778-8501

徳島県三好市池田町シンマチ

1500番地2

☎0883-72-7646

koho@city.tokushima-miyoshi.lg.jp

<http://www.city-miyoshi.jp/>



QRコードからアクセス

□ 編集後記

今号の探訪は石光山水晶採掘跡地。子安観音堂から地元の仁尾さんにご案内いただき、長靴にヘルメット、懐中電灯を装備し、いざ洞窟内へ。中はひんやりしてコウモリの姿も。仁尾さんは子どもの頃、洞窟にある光る石を拾って帰った思い出があるそうで、石光山の名はこの水晶が由来とも。辻風土記を拝見しましたが、まさに温故知新。市内に眠る魅力をいかに引き出すか、洞窟に差し込む一筋の光。今でもこの光が脳裏に焼き付いています（近）

5月号から4号を経験し、少し慣れてきました。余裕が出てきたところで誌面のビジュアル面も少しずつ着手。今号はフォトニュース頁のデザインをマイナーチェンジしました。夏らしいニュースを新誌面でお楽しみください。入稿日の今日も夕方から庁舎の屋上で市役所連の踊りの練習が始まり、鉦と太鼓の音が滅勢よく響きわたっています。いけだ阿波おどりも本番間近。皆さま、くれぐれも熱中症にお気をつけて練習してくださいね（肴）

三好市探訪



125
歩目



石光山の水晶採掘跡

— 三好市井川町片山 —

辻の町並みを一望できる石光山と呼ばれる小高い丘があります。春は桜の名所として、古くは水晶や金が採れる山として知られていました。

辻風土記によれば、「阿波誌に東井川村北岸に出す甚だ小、用に當らず」と、寛政年間には水晶が出ていたという記述があります。同じく「字露口の勝瑞近蔵が石光山に金鑛を発見したりとて大正十一年七月許可を受け昭和五年一月採掘を始め同年三月休止したるも後七年再発掘を試しが又休止した」とあり、石光山では、金を含んだ鉱石も一時採掘されていたという記録が残っています。

当時の水晶採掘跡の洞窟が現在も残っており、洞窟の入口は、身がかがめないと入れませんが、中に入ってみると意外に広く、大人でも少しかがめば十分歩けるほどの高さで、最も高い場所で約1.8m。深さ（延長）は23mほどあり、洞窟内は真っ暗で、夏でもひんやりしており、天井にはコウモリが生息しています。昔はここで、たぐさんの水晶が採られていたと伝わっています。